

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 2月 18日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	1日の定員内の人数でご利用で調整しています。活動内容に応じてスペースの確保をしています。また、必要があればパーティションで仕切り、個別スペースの確保をするなどお子様の様子に合わせて対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	人員は配置に関しては法令を遵守しています。また、その日の利用状況やお子様の様子を考え、安心安全に過ごせるように環境設定を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	構造上、エレベーターがなく階段のため、サポートが必要なお子様に対して職員が1対1で対応しています。また、トイレが室外にあるため、必ず職員がついてスムーズに行けるように対応しています。教室内の真ん中に柱があるので、安全に過ごせるように声かけを行いお子様に注意喚起しています。	西日がきついため、ブラインドを設置するなど今後、検討していきます。また、室内の天井の蛍光灯がむき出しになっているためカバーをつけるなど検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	4	毎日の清掃、消毒、整理整頓を行い、お子様が安心安全に過ごすことができるように配慮しています。また、活動内容によって机の配置や部屋の使い方の工夫を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	5	お子様が落ち着かない様子がみられるなどその日の様子に寄って、パーティションで仕切り個別スペースを作るなど、落ち着ける空間を設けて対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎日の朝礼で、本日の利用状況を確認したり、起こった出来事に対しての改善策や今後の対応や今後の取り組みなどについても情報共有を常に意識して話し合う時間を設けています。また、定期的に対象のお子様のモニタリングを行い、振り返り、計画作成を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	事業所評価により頂いたご意見を公表するとともにより良い支援が出来るように業務の改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎日の朝礼で、前日の振り返りやその日の利用状況の確認やお子様の支援内容を共有し、支援後はその日の様子などを常に共有しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	現時点では、利用者様・社内の2者評価となっています。	第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後、必要に応じて検討をしていきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	入社時には必要な研修を実施しています。その後は、定期的に研修を設けており、常に子ども達のためにより良い支援・質の高い支援が提供できるように職員の支援力を高めるための学ぶ機会は多いと感じています。また、事例検討会も毎月行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	HPやパンフレットなどに会社の理念や脳科学に基づいた支援プログラムを掲載しています。お子様一人一人の特性や課題を把握してオーダーメイドのプログラムを作成しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	モニタリング・アセスメントを行ったうえで、保護者との面談でご家庭の様子や学校での様子を聞き取りをさせて頂き、保護者のニーズもふまえながら、お子様の状態をしっかりと分析しながらその時々に必要な支援が出来るように計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	できた事の確認や課題など優先的に取り組むことなどお子様中心で話し合い、共通認識がもてるようにモニタリングを開催しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	保護者との面談をもとに、個別支援計画立案作成しその後職員間でサービス支援会議を行い課題を明確化し具体的な目標など情共通認識の上で個別支援計画に沿った支援を行っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	統一したフォーマットでアセスメントの入力や日々の活動内容を記入しています。モニタリングや個別支援計画作成時、支援会議などで活用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」を踏まえて計画を立てています。また、五領域を考えながら学習での個別対応や集団活動を組み合わせるなどお子様一人一人に合わせた支援内容を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	他校とも活動プログラムの共有を行いながら大石校でのプログラムに活かし、日々職員間で現状の課題を共有し意見交換を行いながら活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	非認知の活動では季節を感じるプログラムを取り入れたりしながら固定可しないように工夫をしています。また、同じプログラムでも難易度を変えるなど工夫を行っています。お子様にとって必要なプログラムは継続して行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	お子様の課題を把握しながら、個別や集団での活動を組み合わせ実施しています。専門的支援実施計画ではお子様一人一人に合わせた課題や目標の計画を作成しています。また、その時々の子どもの様子を把握しながら臨機応変に対応できるように日々職員間で話し合っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎日の朝礼で当日の利用状況や業務内容、支援の内容を確認しています。また、想定される出来事がある場合の対応も考えて支援にあたっています。職員間で声をかけ合うなど日々、チームワークの大切さを意識しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	日々、振り返りも行いながら次の支援に繋がられるように話し合いを行っています。また、保護者からの連絡事項などは業務日報を活用し共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	支援の内容や課題など記録を残し職員間で共有しています。また、支援に対して常に振り返り、次の支援に繋げていけるように努めています。また、個別支援計画更新時期にはモニタリングなどで振り返る時に参考にしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年に1回以上のモニタリングを実施、個別支援計画の見直しを行っています。必要に応じてお子様の様子をみながら適宜モニタリングを行いながら適切な支援ができるように努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	地域交流の機会はまだまだありませんが、こどもの自立に向けた活動や日常生活を楽しむ場となるように意識しています。また、創作活動など経験をjする機会を設けこどもの興味関心を広げられるように工夫しています。	現在地域との交流は行っておりませんが、地域活動にアンテナを張りながら地域との交流を持てる機会を設けたいと考えています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	お子様が自己選択できるように選択肢のある活動や自由な発想で取り組めるような活動を提供しています。お子様によっては職員が選択肢を提示しながら、お子様自信が意思決定できるようにサポートを行っています。		
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者以外に専門職の先生や直接支援にあたる職員と参加するなど複数名で参加できるように考えています。状況的に難しい場合は、サービス担当者会議や関係機関との会議の前に、職員間でミーティングを行いこどもの現状の把握や課題を擦り合わせています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	保護者のご希望や必要に応じて学校訪問や他事業所との連携は行っています。	今後はお子様に関わる関係機関との連携ができればと考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校との情報共有は保護者を通して行っています。またHPで学校の下校時刻の確認を行っています。送迎時、遅れる事がある場合など電話で連絡をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	同じ会社の児童発達支援事業所とは情報共有を行っています。また、保育園や幼稚園などの様子は保護者を通して情報共有しています。	

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	現在、障がい児福祉サービス事業所へ移行する利用者おりません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	現在行っておりません。今後、助言や研修を受ける機会を設けていきたいと考えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	地域の他のこどもと活動する機会はありません。今後、地域支援・地域連携を行っていく中で他児との活動する機会を設けていきたいと考えています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	可能な限り参加できるように努めています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	利用当日の様子などを保護者の方にお伝えするようにしています。また、気になることなどがあれば電話するなど共通理解がもてるように努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、会社として外部の講師による保護者向けの講演会や親子で参加できる活動など行っています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時には説明をさせて頂いております。また、その都度必要があればお手紙を配布したり、電話で説明を行うようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	個別支援計画更新時には保護者との面談を行い、保護者の要望を聞きながらお子様にとって必要な支援の話ができる場を設けています。それ以外でも、保護者からの要望や困り事など相談があった場合には電話や面談などを行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画の内容を説明し、内容を確認していただき同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	相談などがあれば電話や面談を行い、保護者と一緒に考えたりアドバイスできる事はお伝えしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	7	現在、積極的に実施していません。	保護者の方に支援内容の理解を深めてもらうためにプログラムの体験会や、職員との交流、保護者同士の交流ができる機会を設けていきたいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	契約時に保護者の方に苦情窓口を設置し苦情に対する体制を説明させて頂いております。また、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	7	非認知の活動については、毎月活動内容を記載したプリントを児童用ファイルに挟んでいます。また、マンスリーレポートで毎月の活動や教室の取り組みなどをお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報に関しては守秘義務を厳守し、鍵付きのキャビネットにて厳重に管理を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	先の見通しがもてるように事前に伝えたり、視覚的に分かりやすくするなどお子様に合わせた関わりを行っています。また、保護者の方には送迎時や電話、公式LINEなども活用しながら円滑に情報伝達ができるように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	現在、実施していません。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを完備し、職員間での共有、発生を想定した訓練を実施しています。また、マンスリーレポートで訓練実施を保護者の方に周知しております。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	業務継続計画を策定しています。また、避難訓練を実施し定期的に避難バツクの備品など確認も行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に、服薬やアレルギー、てんかん発作などがあるか確認しています。また、面談などで子どもの状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	事前にヒアリングを行い、食物アレルギーに対する詳細を保護者に確認を行い、おやつ等に含まれないようにアレルギーチェックを行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	年度初めに計画を作成し、毎月計画に基づいた訓練や研修を行っています。	今後は、年度初めに、保護者の方に周知していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	契約時に、緊急時の連絡先やお子様を引き渡す際の保護者引き渡しシートに必要な情報の記入をお願いしています。また、安全計画に基づく取組内容は教室の入口に掲示しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットや事故があった場合には記録をのこし、職員間で再発防止に向けて対策を話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	入社時と毎年研修を行っています。また虐待防止委員会を開催し適切な対応ができるように話し合っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	やむを得ず身体拘束を行う場合の組織的なルールを明確にし、身体拘束を行う必要がある場合には、お子様や保護者への十分な説明や個別支援計画書に記載します。	